



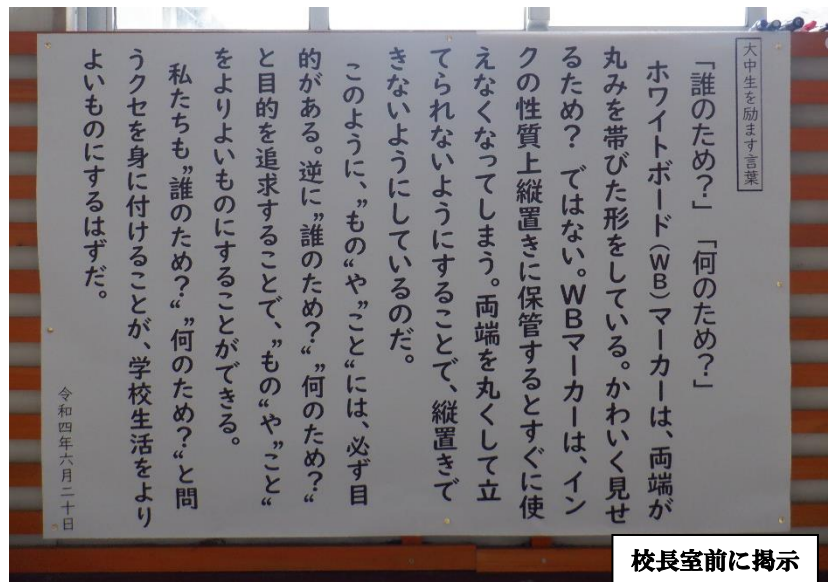
テストを終えて見えてくるもの…

6月20日(月)、21日(火)第1学期末テストが実施されました。テストを終えた生徒たちの表情はこれまでの緊張がやわらぎ、穏やかな表情に見えます。早速答案が返却された教科もあり、目標としていた点数に届かず、晴れやかだった表情が曇ってしまう生徒もいたようです。テストは受験をした時点での学習の成果を知ることに加え、さらに2つのことを知ることができます。

- ①これまでの学習の取組方(授業・家庭学習) ②これからの学習の取組方(授業・家庭学習)

学習姿勢、学習時間、学習方法…これまでの学習の取組み方でよいかどうか、これからはどうしていけばよいのか、目標としていた点数を取ることができなかった場合は、これからの学習の取組み方を“アップデート”していく必要があります。テストが終わって、「おしまい」ではなく、次の目標に向けてのスタートであることを意識させていきたいと思えます。

「大中学生を励ます言葉」(校長室前廊下に掲示)を新しくしました。ホワイトボードのマーカーの形状一つとっても、目的があります。中学生が学習するのも、「なぜ学ぶのか」「何を学ぶのか」「誰のために学ぶのか」と考えることはとても大切です。ホワイトボードのマーカーのように答えがすぐには見つからず、正しい答えが一つではないもの、答えが見つげにくいものであることは間違いありません。だからこそ、考えるべきことです。テストのあとは良い機会ではないでしょうか。



お知らせ

本校職員 松下 真美 栄養教諭 が6月28日(火)より産前休暇に入ります。

栄養教諭は、本校の食育指導、給食指導、アレルギー対応を担い、給食の献立作成や給食センターの運営にも携わっています。

代替として、大森 愛 栄養職員が松下栄養教諭の業務を引き継ぎます。

教育実習生 藤原歩未 さん(音楽科)が3週間の実習を本日で終わりました。本校卒業の先輩が、将来のために頑張る姿を間近に見て、生徒たちにとっても、将来の進路選択や職業選択について考える良い機会になりました。

大村中学校の 働き方改革について

2019年1月25日「新しい時代の教育に向けて持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方に改革に関する総合的な方策について(答申)」がだされました。この答申の「学校における働き方改革の目的」は以下のように記されています。

教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動をおこなうことができるようになること

本校においても、日々の授業やそれに伴う教材研究、諸調査、生徒との相談、部活動…業務も多岐にわたり、職員は多忙を極めています。社会的な問題として取り上げられている超過勤務については本校も例外ではなく、職員によっては、100時間を超えるような状態でした。

生徒と向き合う時間の確保、教職員の健康維持のために本校でも働き方改革を推進してまいります。

働き方改革の推進のために、組織体制の見直しや職員個人の業務の見直し等を行い、生徒や保護者の皆様に直接関わることについては、随時お知らせしてまいります。

メディアコントロールDAY 協力ありがとうございました

6月16日(木)～6月20日(月)に実施したメディアコントロール第1回目のチャレンジへの協力ありがとうございました。メディアは使い方次第で便利にもなるものであると同時に、自分自身や他人に刃を向けてしまうものにもなります。上手に使って役立てられる

よう、第2回以降も御家族で取り組んでいただきたいと思います。

昨日、6月23日(木)に「情報モラル集会」をリモートで行いました。e-ネットキャラバンの協力団体である(株)マツハヤ・コーポレーションから講師をお招きして講話を全校生徒にさせていただきました。



ネットやメディアを正しく使うには…

- 1 ルールをつくる
 - 2 利用時間の制限
 - 3 深刻な時は外部に相談
- 使い方を間違えると、いじめやデジタルタトゥーなど深刻な問題が発生します。

ネットやメディアのリスクを少なくするためには、ルールを守ること、想像力を働かせて危険を察知する力を身につけてほしいと願います。